

▼ 公社HP

<https://www.adhokkaido.or.jp/>



農業公社 ニュース



(第6号)

北海道では数十年ぶりとされる猛暑の日々が続いており、各作物とも生育は概ね順調ですが、全道的に雨不足による今後の生育への影響が懸念されています。

また、新型コロナウイルスの感染拡大が顕著となっており、道内に「まん延防止等重点措置」が再び適用（8/2～31、措置区域：札幌市）となりました。

取りまく状況等を十分踏まえ、業務への支障の回避や代替措置等について、適時適切な対応を図っていく必要があるものと改めて考えているところです。

農業公社ニュースの第6号をお届けいたします。

■ 7月1日付けで小田原新理事長が就任

かねてより辞意を表明していた竹林理事長が6月末をもって退任いたしました。退任式では、在任期間の5年間を振り返り、就任当時の課題であった「経営基盤の安定」に一定の道筋が見えてきたことへの思いと、それを支えてくれた役職員に対する感謝の意を述べられました。

後任には、6月24日に開催の定時評議員会において理事に選任された小田原輝和・前道農政部長が、7月1日午前の臨時理事会において新理事長に選定され、同日付けで就任となりました。

午後からの就任式では、役職員を代表し宮本副理事長が、昨年の公社創立50周年を紹介しつつ、「新たな半世紀の始まりに、これまでの経験を踏まえた幅広い視点から指導してほしい」と歓迎の挨拶を述べました。

この度の就任で11代目となる小田原新理事長は、「諸先輩の足跡をたどりつつ、現場に密着した様々な業務について、公益的な位置づけ、創立時から蓄積された技術・知見を最大限に生かし、『答えは現場にある』『地域の考え方を大切にする』を基本として、公社が十分力を発揮できるよう全力で取り組んでいく」との決意を、会場に参集の幹部職員をはじめ、オンラインで視聴の本所各部署、全道各支所・牧場の職員に向けて表明いたしました。



▲ 竹林理事長 退任あいさつ



▲ 宮本副理事長 歓迎あいさつ



▲ 小田原新理事長 就任あいさつ

【総務部】

■ 地区別推進会議 苫渚の開催見合わせ

本年度の担い手育成関係事業の実施方針について、地域担い手育成センターをはじめとする道内の関係者に説明する場として「農業担い手育成センター事業地区別推進会議」を開催する予定（＝7月28日～8月12日、全道7ブロック）でしたが、新型コロナウイルスの感染状況が札幌市を中心に拡大傾向にあり、道が独自対策期間を延長したこと等を踏まえ、やむなく2年連続の中止を決定しました。

説明予定の内容は資料配布に切り替えて、各地域センターにお届けしますが、双方向で情報交換できる機会を失うことは大きな痛手なので、何とかしたいものです。

急な変更となりましたことをお詫び申し上げます。

【担い手支援部】

■ 速報！ 新規就農フェア 9月開催決定！

6月に札幌市内で開催を予定していた「新規就農フェア」は、道内の新型コロナ感染拡大状況を踏まえて中止しましたが、出展を計画していた地域センターの皆さまには、ご迷惑をおかけしました。

次回は、9月25日（土）ホテル札幌ガーデンパレスでの開催を決定しました。現在出展公募中ですので、参加のご検討をお願いします。

（感染拡大状況等により変更・中止もあり得ますので、ご理解願います）

【担い手支援部】

■ 機構集積協力金制度の内容が一部改正されました！

地域の話合いにより、まとまった農地を農地中間管理機構（北海道農業公社）に貸し付ける地域（集積タイプ）や、担い手同士の農地交換等により担い手への農地の集約化に取り組む地域（集約化タイプ）に対し協力金が交付される地域集積協力金をはじめとした「機構集積協力金制度」ですが、令和3年度から制度内容が一部改正されております。

特に地域集積協力金では、同一年度内に上記2つのタイプの重複交付が可能となったほか、交付要件の一部緩和等がなされております。

地域の話合いにより農地の集積・集約化を図る際の有効な支援制度でありますので、ぜひ農地中間管理事業を活用した取組をご検討ください。

なお、機構集積協力金制度の詳細につきましては、下記の農林水産省ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/kikou/index.html>

（農林水産省HP⇒「機構集積協力金の概要（リーフレット）」）

【農用地部】

■ 農用地開発整備事業が繁忙期を迎えています

令和3年度も夏本番となり、農用地開発整備事業が最も活気づく時期となっております。

春先から天候に恵まれ、事業の受益農家の方々が一番牧草収穫作業も順調に進捗しており、道が発表した農作物の生育状況（7/15現在）を見ますと、牧草の全道的な状況については、平年より6日早く収穫が終了し、収量・栄養価ともに良好であると報告されています。

収穫作業が終われば、公社直営の草地整備事業が本格的に始まり、9月の中旬頃まで最盛期を迎えることとなります。

良質な粗飼料確保と作業効率の良い基盤整備に貢献している事業の完遂はもとより、工事の安全と現場職員の健康を願いつつ、繁忙期間の好天等を祈るばかりです。



▲ ボトムプラウによる耕起作業

▼ グラウドリルシーダーによる
播種と鎮圧の一体的作業



▶ 公社が農用地開発整備事業として実施する事業のうち、「土層改良事業」について工法や機械を紹介 https://www.adhokkaido.or.jp/pdf09_intopa/nk_doso2012.pdf

【農場整備部】

■ 採草地（270ha） 一番牧草の収穫作業を適期に終了

「一番牧草」は、その年一番最初に刈り取る牧草で、一年を通して一番栄養価が高く、牛にとって一番美味しい飼料とされています。

当牧場は、採草地と放牧地などを合わせた総面積が524haで、このうち採草地270haについて、さる6月13日から27日にかけて、例年より早く一番牧草のグラスサイレージ（発酵飼料）切込作業を行いました。

今年は、天候に恵まれた中で、本所や支所からの人的応援もあり、適期に作業を終えることができました。

刈取作業では、今年度初稼働のダイレクト式ハーベスターで刈取りと裁断を同時に行い、新たに増設した7基のバンカーサイロへの運搬、鎮圧と円滑に作業を進めることができたところであり、良質で栄養価の高いグラスサイレージができるものと思います。

発酵完了後、粗飼料として育成牛や初妊牛に与えられ、良質な乳用牛が育つのではないかと大いに期待しているところです。

▼ 今年度初稼働のダイレクト式ハーベスター



▼ 牧草収穫作業



▲ 新たに増設したバンカーサイロ

【十勝育成牧場】

本所・支所・牧場所在地

● 本所 ①～⑩ 支所・牧場



本所

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23
TEL.011-241-7551(代表) FAX.011-271-3776
<https://www.adhokkaido.or.jp>



監 査 室 TEL. 011-241-7557	総 務 部 TEL. 011-241-7551	担 手 支 援 部 TEL. 011-271-2255
農 業 経 営 相 談 室 TEL. 011-522-5579	農 用 地 部 TEL. 011-241-5751	農 村 施 設 部 TEL. 011-241-5701
農 場 整 備 部 TEL. 011-241-7554	畜 産 部 TEL. 011-241-5761	統 括 労 働 安 全 衛 生 委 員 会 TEL. 011-241-7557

支所・牧場

① 道央支所

〒068-0025 岩見沢市5条西5丁目2番地1 空知農業会館
TEL.0126-23-2178 FAX.0126-23-4260

② 道南支所

〒040-0073 函館市宮前町33番13号 道南農業会館
TEL.0138-44-5600 FAX.0138-44-5615

③ 日胆支所

〒053-0021 苫小牧市若草町5丁目5番3号 日胆農業会館
TEL.0144-32-8171 FAX.0144-32-3215

④ 十勝支所

〒080-0013 帯広市西3条南7丁目14番地 農協連ビル
TEL.0155-24-0254 FAX.0155-24-0261

⑤ 釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10番地 釧路農業会館
TEL.0154-22-1538 FAX.0154-25-4798

⑥ 根室支所

〒086-1006 檜津郡中檜津町東6条南1丁目2番地 根室農業会館
TEL.0153-72-3296 FAX.0153-73-2080

⑦ 北見支所

〒090-8650 北見市とん田東町617番地 農業管理センター
TEL.0157-25-2826 FAX.0157-25-9188

⑧ 上川支所

〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号 JA 上川ビル
TEL.0166-25-2613 FAX.0166-26-3464

⑨ 道北支所

〒097-0001 稚内市末広4丁目2番31号 宗谷農業会館
TEL.0162-33-3321 FAX.0162-33-7339

⑩ 十勝育成牧場

〒089-2261 広尾郡大樹町字尾田708番地
TEL.01558-7-5121 FAX.01558-7-5159